

校長室
だよ

おみっ子

通信

令和5年12月22日
麻績小学校
No. 10



思い合いの心でみんなが笑顔！

2学期が終了し、令和5年（2023年）が終わろうとしています。12月にはインフルエンザの流行による学年閉鎖もありましたが、今年を通して考えると新型コロナウイルス感染症が5類となって以降、感染症による制限が緩和され、様々な教育活動や学校行事がコロナ禍以前のように行われるようになってきました。単純に「前に戻す」ということではなく、保護者の皆様や地域の方、教育委員会等のご理解も得ながら「新しい形」にも挑戦してきた1年でもありました。これからも、子どもたちのために、よりよい学校のあり方を模索し、取り組んでまいりたいと思いますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

2学期 がんばりました ～終業式校長講話よ～

2学期の終わりに、学校教育目標の達成に向けて様々な学習や活動に取り組んできた子どもたちの姿を以下のようなスライドで紹介しながら、校長よりお話をさせていただきました。

| | |
|--|--|
| <p>学校教育目標</p> <p>まなぶ 学び合い</p> <ul style="list-style-type: none">友だちとついに考え、活動して楽しもう麻績の自然や人から体験を通して学ぼう自分の思いを相手にしっかり伝えよう <p>おも 思い合い</p> <ul style="list-style-type: none">すすんであいさつしよう友だちの気持ちを考えよう友だちの名前に「さん」を付けて呼ぼう <p>また 鍛え合い</p> <ul style="list-style-type: none">すすんで体を動かし健康なからだをつくらうおいしく給食を食べようみんなのために力をだして働こう | <p>2学期のキーワード</p> <p>「学び」 友だち・体験・ふるさと</p> <p>「交流」 友だちグループ ・中学校・保育園</p> <p>「健康」 心と体</p> |
|--|--|

「学び」友だち・体験・ふるさと

2年生：みんなで何をしたいか話し合っ、みんなで決めて、調理や販売などの活動に取り組みました。

学校教育目標をもとに、始業式で子どもたちに伝えたキーワードに沿ってお話ししました。2年生は、畑でとれたポップコーンやさつまいもを使って何をするか、自分たちで話し合い、みんなで協力して活動を創り上げていきました。販売の売り上げを使って行ったクリスマス会もとても楽しそうでした。友と学び合い、子どもが主体となって進める学習となっていました。

「学び」友だち・体験・ふるさと

1年生：野菜を育てて収穫し、味わったり、工作に利用したり体験をととして学ぶことができました。

「学び」友だち・体験・ふるさと

5年生：稲刈り脱穀や餅つきなどの体験をととして米作りを学び、収穫祭は自分たちで企画して実施しました。

1年生は、サツマイモを育てて焼きいもを食べたり、サツマイモのツルや校外学習で拾ってきた松ぼっくりなどを使ってリースを作ったりしていました。体験を通して自然に親しみました。5年生は、JAの方に協力していただきながら、米作りに取り組みました。あまり農薬や機械に頼らず、鎌で稲刈りしたり、手で脱穀したりと、昔ながらの農業を体験し、農作物を育てることのやりがいや大変さを感じていました。学習のまとめとなる収穫祭は、自分たちで計画を立て、準備を分担し、当日は振り返りの動画を見ながら、おいしいお餅を食べました。

「学び」友だち・体験・ふるさと



3年生：麻績村を紹介する動画やパンフレットを作ってPRふるさとのよさを学びました。

3年生は、自分たちが麻績村のいいところだと感じている場所などに出かけ、取材して、紹介動画を作成しました。また、それらをまとめて冊子にし、サッカーの山雅の試合で広く一般の方にも紹介しました。動画作成では、お互いの作品を見合い、アドバイスし合う姿が見られました。

4年生は、県庁所在地である長野市の見学に出かけました。善光寺で真っ暗なお戒壇めぐりをしたり、畳に正座して精進料理をいただいたりと、体験を通して長野の文化に触れてきました。保育園児との交流も進めています。

「学び」友だち・体験・ふるさと



4年生：麻績も信州も私たちのふるさと。精進料理や園児との干し柿作りなど、校外での学びも大切です。

「学び」友だち・体験・ふるさと



6年生：日本の政治や文化の中心、東京で。貴重な体験でした。また、ふるさとのよさも、改めて感じました。

6年生は、日本の首都、東京へ行きました。国会や科学博物館、江戸の文化など、その場所に行かなければできない経験をたくさんしてきました。国会議員の方が麻績村の話をしてくれて、ふるさとのよさを再認識したシーンもあったようです。

「友だちグループ」の活動で、ハロウィンは、子どもたちが楽しい企画を考え、職員も仮装しながら参加し、たいへん盛り上がりました。異なる年齢の子どもたちが協同して様々な活動に取り組めるのは、麻績小のよさ「らしさ」のひとつとして大切にしていきたいと考えています。

「交流」友だちグループ



ハロウィン・縦割り清掃・なかよし読書・読み語りなど、学年が混ざって活動することがたくさんありました。

「交流」保育園・中学校



おみの子どもたち全員でつくりあげた音楽会。来年入学してくる年長さんと、中学へ進学する6年生。つながりを大切に。

「健康」心と体



なかよし月間で、互いの良さや「らしさ」を大切にしたり、マラソンをがんばったり、心と体を健康にしました。

今年度、初の取り組みとして行われた「おみっこミュージックフェスティバル」は、保育園、小学校、中学校、それぞれのよさが発揮され、麻績村の子どもたちの成長の過程が一度に見られました。これからも校種間の連携や、卒業や入学をする子どもたちの支援を手厚くやっていきます。

「心の健康」に関わっては、互いのよさ「らしさ」を尊重し合う姿勢をこれからも大切にし、「体の健康」に関しては、体力向上や感染症対策等に継続的に取り組んでまいります。

冬休みには、2学期にがんばれたことを振り返って、3学期にやりたいことを考えてほしい、と子どもたちに伝えました。今年もありがとうございました。来年もよろしくお願いいたします。